

県立図書館だより

平成21年2月

青森県立図書館報 第3号

企画展「青森県立図書館80年のあゆみ展」開催中

青森県立図書館は、昭和3（1928）年4月に文部大臣の設置認可を得て開館して以来、80年となります。

この間、昭和20（1945）年7月28日、青森市の空襲によって建物が焼失するという不幸な出来事に見舞われましたが、奇跡的に書庫の一棟が戦災を免れました。

昭和27年には、移動図書館（ブックモバイル）が巡回を開始して県内の読書活動の伸張を図るとともに、昭和29年には、本来の図書館機能のほか、展示会や音楽会などを開催できるホールなどを合わせ持つ新生県立図書館が落成し、文化拠点としての一翼を担ってきました。

そして、平成6（1994）年3月22日に、新町から荒川に移転し、その新築オープンと同時に青森県近代文学館が開館しました。

青森県近代文学館は、15年目を迎えますが、この間、太宰治や寺山修司など、青森県を代表する13人の作家を常設展示するとともに、特別展・企画展を開催し、本県近代文学を広く紹介しています。

今日、県立図書館・青森県近代文学館は、本県の歴史や文化を継承し、県民の多様かつ高度化する生涯学習活動を支援するとともに、地域を支える情報拠点として、地域の課題解決や地域の振興を支援する役割を担うため、産業支援サービスなど新たなサービスに取り組んでいます。

本展は、両館のこれまでの活動の歴史を当時の社会状況とともに振り返るものです。

詳しくは青森県近代文学館ホームページ「開催中の企画展」をご覧ください。

※ 開催中の企画展（<http://www.plib.net.pref.aomori.jp/top/museum/tosyokan80.html>）



目 次

企画展「青森県立図書館80年のあゆみ展」開催中	1
おやくにたちます！県立図書館 産業支援サービス	2
こんなレファレンスがありました	3
子どもの本の紹介	4
郷土資料の紹介	5
近代文学館資料の紹介	6
カウンターから一言	7
青森県立図書館自己評価について	8

おやくにたちます！県立図書館 産 業 支 援 サ ー ビ ス

◆ 産業支援サービスとは？

産業支援サービスは、本県の喫緊の課題である産業や雇用の創造に資するねらいから、県立図書館が所蔵する様々な専門図書や資料を基に、県民の皆様に対して、資格取得など就職につながる情報、創業・起業や経営改善に関する情報、農林水産資源を活用した商品開発に関する情報などを提供することにより、幅広く産業やビジネスを支援していくことを目的として、平成19年5月25日から開始したサービスです。産業支援サービスの利用状況は、平成19年度は3,617件、本年度は、平成20年12月31日現在で2,986件となっています。

◆ サービスの内容は？

(1) 産業支援コーナーの設置

参考・郷土室内に設置されている産業支援コーナーには、産業関連図書や雑誌などをまとめて展示しているほか、各種セミナーなどのチラシ・パンフレットを掲示したり提供しています。

また、データベース検索用パソコンでは、「日経テレコン21」、「官報情報検索サービス」、「会社四季報 web」、「就職四季報web」などの情報を閲覧できるようになっており、業界情報や企業情報などの産業情報等を、幅広く入手することができます。

(2) 産業支援レファレンスサービス

参考・郷土室では、産業やビジネスに関する問い合わせに対して、図書館が所蔵する資料等を基に情報提供しています。

また、求めに応じて、情報が掲載されている図書・資料のリストやコピー（有料）を、著作権法で認められた範囲内で提供します。

なお、産業やビジネスに関する問い合わせは、電話、ファックス、メール又は郵便でも受け付けしています。

(3) その他の産業支援サービス

県立図書館では、県内の創業・起業支援機関に対して、専用図書の貸出しを行うとともに、創業・起業や就職等に関するセミナーの会場として県立図書館を提供したり、セミナーの参加者に対して、関連図書の一覧表「オーダーメイドリスト」を作成・提供するなど、産業関連機関と連携した取組みを進めています。

(4) ホームページ上の産業支援情報案内

県立図書館ホームページに設けている「産業支援情報案内」では、図書館が所蔵する図書や資料の検索ができるほか、業界情報や企業情報などの産業情報の一部も検索できます。

「産業支援情報案内」を利用する場合は、県立図書館ホームページのトップページ左側の「産業支援」をクリックしてください。

◆ 問い合わせ窓口は？

産業支援サービスの問い合わせ窓口は、参考・郷土室となっておりますので、調べもののご相談など、お気軽にお問い合わせください。

電 話 017-729-4311 FAX 017-762-1757 E-mail sanko@plib.net.pref.aomori.jp

おやくにたちます！県立図書館

産業支援サービス

就職・起業や新たな産業の創造を応援します！

サービスの内容

① 産業支援コーナーの設置

- 産業やビジネスの関連図書・雑誌・新聞を配架し、閲覧に供するとともに、貸出しを行います。
- 専用端末から、関連データベース等の検索ができます。
- 産業支援優先席があります。
- 関連チラシ・パンフレットの収集及び提供を行います。

② 産業支援レファレンスサービス

- 産業やビジネスに関する照会に対して、情報提供します。
- 情報が掲載されている図書・資料のリストやコピーを、著作権法で認められた範囲内で提供します。

青森県立図書館では、県民の皆さんを対象に産業支援サービスを始めます。

資格取得など就職につながる情報、創業・起業や経営改善に関する情報、農林水産資源を活用した商品開発などに関する情報等の提供を行い、幅広く産業やビジネスを支援します。

県立図書館には、様々な専門図書や資料が豊富にあります。

県立図書館を大いに活用してください。

青森県立図書館 参考・郷土室

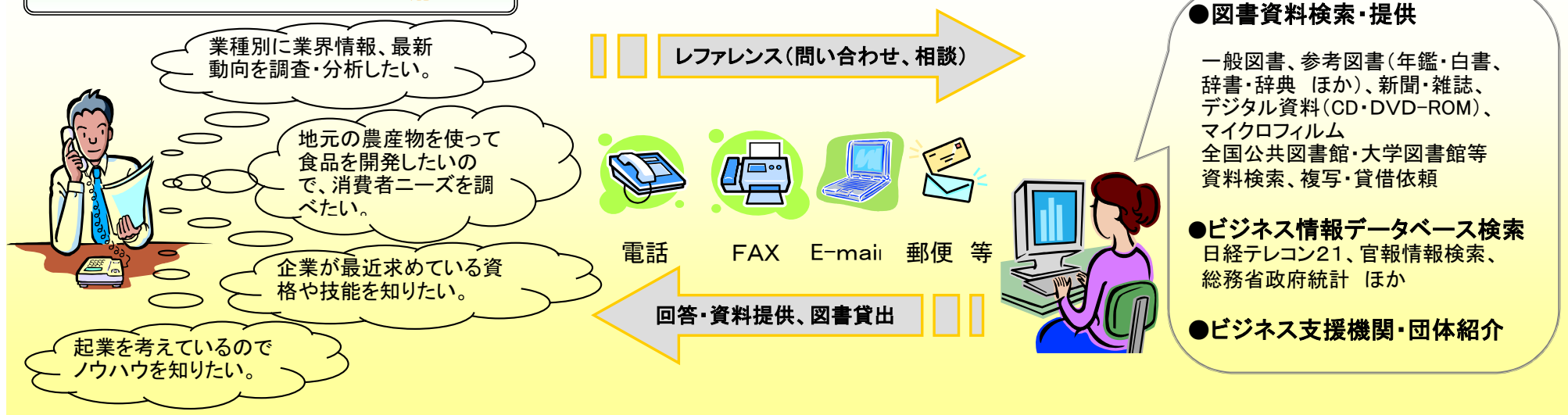
窓口

電話 017-729-4311

FAX 017-762-1757

E-mail sanko@plib.net.pref.aomori.jp

レファレンスサービスの流れ



産業支援コーナー（県立図書館 参考・郷土室内）

おやくにたちます！県立図書館
産業支援コーナー

産業支援情報検索端末



産業支援優先席

『産業支援情報検索端末』

産業支援に係るホームページ情報提供

※ 主なもの

- ・ 日経テレコン21
- ・ 官報情報検索サービス
- ・ 会社四季報 web
- ・ 就職四季報web
- ・ 企業データバンク
- ・ 東京証券取引所
- ・ 統計データポータルサイト(総務省)
- ・ 青森県統計データランド
- ・ 東北農政局統計調査結果
- ・ (財)21あおもり産業総合支援センター
- ・ ワークあおもりJobネット
- ・ ジョブカフェあおもり
- ・ しごと情報ネット
- ・ ハローワークインターネットサービス
- ・ 国立国会図書館雑誌記事検索

『雑 誌』

- ・ 日経ベンチャー
- ・ 経済セミナー
- ・ 日経ものづくり
- ・ 新建築
- ・ ストアジャーナル
- ・ 積算資料
- ・ 商業界
- ・ 食品工業
- ・ 企業実務

- ・ 週刊ダイヤモンド
- ・ 東洋経済
- ・ エコノミスト
- ・ 国際ジャーナル
- ・ リベラルタイム
- ・ ビジネス・レーハートレンド
- ・ 日経ビジネス
- ・ 月刊消費者
- ・ 都道府県展望
- ・ 地方自治情報
- ・ 働くひろば

『図 書』

- ・ 産業やビジネス関連の新作
図書を、約150冊配架・紹介

『チラシ・パンフレット』

- ・ 産業やビジネス関連の
チラシ・パンフレットを収集し、
提供します。

※ 産業支援コーナー手前の
パンフレット架 など

『産業支援優先席』

- ・ 産業やビジネス関連の調べ物を
していただくための優先席 4席

参考・郷土室内には、その他に
社会人優先席など 28席
CD-ROM検索席 2席

『産業支援レファレンス サービス』

- ・ 産業やビジネスに関する照会に
対して、情報提供します。
- ・ 図書・資料のリストやコピーを、全
国の公立・大学図書館などからも
著作権法の範囲内で提供

こんな レファレンスがありました

(第3回)



参考・郷土室では、「探している本が、どこの図書館にあるのか知りたい。」「こんなテーマの本はありますか。」「こういう事柄や人物を調べたいが、どんな本がありますか。」などというレファレンス（質問）に、図書館資料等を使って、お答えしています。

そのたくさんのレファレンスの中から、毎回、事例を紹介していきます。

【質問】江戸時代、津軽藩では今別町の「赤根沢の赤岩」から「ベンガラ」を作って幕府に献上していたと聞いたが、古文書などに記録があるか。

「ベンガラ」は、酸化鉄(Ⅲ)を主成分とした赤色酸化鉄顔料の一般名であり、名称は、最初に産出したインドのベンガル地方に由来すると言われている。日本では、「紅殻」という漢字を当て、「べにがら」とも言う。

【参考：『日本大百科全書 第2版』第21巻】

【回答】

津軽藩が出版した唯一の官撰本『津軽一統誌』の「産貢」の項目の中で、「紅葉山」（江戸）や「日光山」の造営のために、数度にわたって献上したという記述があります。

また、明治初年に修史局からの依頼でまとめた「津軽旧記類」のうち、藩主を主とした『津軽歴代記類』の中には、

「寛文十年四月二十六日、江戸御城紅葉山之御宮御修覆ニ付、津軽外ヶ浜赤丹沢赫土、御用被仰付形六十貫被献之候。 佐藤家記」

「貞享三年三月十二日、赤丹沢之赫土、公儀へ献上。 工藤家記」

という記述があり、同じ内容が、寛文元年から元治元年までの藩政の記録「弘前藩庁日記」（御国日記・江戸日記）を主体に編纂された『津軽史 第162 雑部28』の「赫土」の項目の中にも記載されています。

また、『津軽藩歴代記類』には、「天和三年閏五月二十七日、日光山宮修復手伝命ぜらる。 津軽日記」に続いて、普請に当たった主な家臣の名前やほか数十人が、7月12日より日光で勤めたこと、9月13日に藩主が日光の普請場に赴いたこと、そして、12月13日までに修復が済んだことなどの記述があります。

【参考文献】

『津軽一統誌（新編 青森県叢書 1）』（歴史図書社 1974年刊）

『津軽藩歴代記類（みちのく双書 第7集）』（青森県文化財保護協会 1959年刊）

『津軽史 第162 雑部28（みちのく叢書特輯 12）』

（青森県文化財保護協会 1982年刊）

●レファレンスは、電話・手紙・FAXのほか、電子メールでも受け付けています。

レファレンス申込み及び問い合わせ先

青森県立図書館 参考・郷土室

電 話 017-729-4311

FAX 017-762-1757

電子メール sanko@plib.net.pref.aomori.jp

子どもの本の紹介(第3回)

様々な本を収集している県立図書館ですが、図書館を舞台にした絵本もたくさんあります。

今回は、その中から3冊をご紹介します。



『としょかんライオン』

ミシェル・ヌードセン:さく ケビン・ホークス:え 福本友美子:やく 岩崎書店 2007 (児大E ホークス*ケ)

ある日、図書館にライオンが入って来ました。当然人々は大あわて。しかし、図書館長のメリウェザーさんは、決まりを守れるのであれば来てもよいと言います。やがてライオンは図書館のお手伝いをするようになり、みんなの人気者になります。ところがある日、ライオンは決まりを破ってしまいました。

図書館とライオン。まるであり得ない組み合わせですが、このライオンがとても優雅に図書館の中を歩く場面を見ると、図書館でライオンに会ってみたいと思ってしまう。

『ステラのえほんさがし』

リサ・キャンベル・エルンスト:作 藤原宏之:訳 童心社 2006 (児E エルンスト*リ)

大変なことに、ステラが図書館から借りていた本が見つかりません。本の返却は明日まで。期限までに返さなければ図書館のグラハム先生はがっかりすることでしょう。ステラは本を探しますが、次から次へいろいろな人の手に渡っていました。

この本にはブラウン方式と呼ばれる返却期限が書かれた紙が描かれています。その紙を見ると、一目で何回借りられたのかが分かるので、その本の人気わかります。

『バスラの図書館員 イラクで本当にあった話』

ジャネット・ウィンター:絵・文 長田弘:訳 晶文社 2006 (児E ウィンター*ジ)

イラクの都市バスラにも戦争が迫ってきました。図書館員のアリアさんは戦争から何よりも大切な本を守るため、毎夜自ら自分の家に何度も何度も本を運び、避難させました。その数は3万冊にもなりました。それから9日後、図書館は焼失したのです。

戦争は何もかも奪い去る。しかし、様々なことを教えてくれる大切な情報源である本を守ろうとする図書館員としての使命感、責任感、そしてその勇氣には頭が下がります。



郷土資料 の 紹 介 (第3回)

青森県立図書館では、青森県に関する資料や青森県内で刊行された資料、青森県在住者・出身者の著作物等を郷土資料として積極的に収集し、永く保存するとともに、県内外の皆様にご利用いただいております。

このコーナーでは、当館所蔵の郷土資料の中から、普段は人目に触れる機会の少ない貴重な資料などをご紹介します。

青森県を代表する写真家の一人、小島一郎(1924～1964 青森市出身)。

ベトナム戦争を取材し、ピューリッツァー賞やロバート・キャパ賞を受賞した写真家・沢田教一(1936～1970 青森市出身)に大きな影響を与えたことでも知られる小島一郎は、故郷青森を拠点に「猛烈な吹雪に吹きつけられながら、十里余の道のりを休むまもなく歩きつづけながら、あるいは道あって道のない雪の吹き溜まりに落ちこんでもがいたりしながら」(小島一郎「私の撮影行」『津軽』)津軽や下北の風景を撮り続けました。

過酷な撮影により体を壊した小島は、39 歳という若さで亡くなりますが、「生きようとする人間の執念の姿」(同上)を独特の焼きこみで表現したその作品は、彼の死後も各地の展覧会や写真雑誌等で度々取り上げられ、高い評価を得ています。

なお、現在、青森県立美術館において、企画展『小島一郎 - 北を撮る - 戦後の青森が生んだ写真界の「ミレー」』が、3月8日(日)まで開催されています。

今回ご紹介するのは、その小島一郎が生前に出版した唯一の写真集『津軽』(石坂洋次郎編 新潮社 1963)です。

「雪の多い津軽の風土とそこに住みついている人々のド根性・魂い——。そういうものに共感をもって欲しい」(石坂洋次郎「あとがき」『津軽』・原文のまま)。

今なお見る者に鮮烈な印象を与える小島の写真に、昭和を代表する流行作家・石坂洋次郎(1900～1986 弘前市出身)の文章と『まるめろ』で知られる詩人・高木恭造(1903～1987 青森市出身)の方言詩を配し、外箱と標題紙に版画家・関野準一郎(1914～1988 青森市出身)のカットをあしらったこの本からは、当時各分野の第一線で活躍していた彼らの、故郷津軽に対する深い想いで結ばれた絆と、新たな可能性を秘めた同郷の後輩・小島に寄せられた大きな期待が感じられます。

なお、この資料は書庫に保管しておりますので、ご覧になりたい方や貸出をご希望の方は、お手数ですが当館職員にお申し出ください。



『津軽』(石坂洋次郎編 新潮社 1963)より

近代文学館資料の紹介(第3回)

今官一 小説集『壁の花』初版本・自画賛色紙

今官一（1909～1983）は、弘前市に生まれ、東奥義塾で学びました。入学した時、既に文学者になることを志していたと言われています。ここで官一は、聖書に関する知識と英語力を身に付け、4年生時には国語漢文教師として赴任して来た福士幸次郎と出会い、薫陶を受けました。

1930（昭和5）年に上京した後は、横光利一に師事し、文学修行に打ち込みました。1934（昭和9）年には太宰治らとともに同人雑誌「青い花」を創刊し、1940（昭和15）年には第一小説集『海鷗の章』を刊行。官一の知的で詩情あふれる作風は文壇人の認めるところとなりました。

1944（昭和19）年、官一は召集を受け横須賀海兵団に入隊。戦艦に乗船し、レイテ沖海戦を経験しました。後年出版された『幻花行』や『不沈（戦艦長門）』は、この戦争体験を題材に描かれたものです。物事が不当に扱われることを好まず、「不当な扱いを、正當に評価し、出来れば正當に是正したい」という信念を持って創作に取り組んだ作家でもありました。

本年は、今官一生誕100年という節目の年に当たります。そこで今回は、当館で常設展示している官一ゆかりの資料の中から2点を紹介します。



小説集『壁の花』初版本

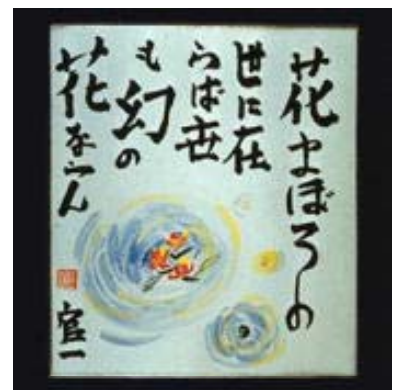
1956（昭和31）年3月に芸術社から刊行された小説集で、「暗い砦」「海の百合」「華麗なるポロネーズ」「星の下のクワルテット」の4編を収録しています。この小説集によって官一は、第35回直木賞を受賞しました。

本のタイトルは、「星の下のクワルテット」に登場する、心に染まない人とは踊ろうとしない踊り子、マリアに由来します。壁際に腰かけてばかりのマリアは、周囲から「壁の花」とあだ名されますが、主人公の「ぼく」は、そんなマリアに心惹かれていくという筋立てです。

なお、当館では初版本のほか、阿部合成の手による表紙原画も合わせて展示しています。

自画賛色紙

「花まぼろしの世に在らば世も幻の花ならん」は、官一が好んで色紙に記した字句であり、作家活動の中で到達した境地や思想を垣間見せてくれる一品です。弘前市立図書館前庭に設置された今官一文学碑（2006年12月8日建立）にも、この言葉が刻まれています。ちなみに毎年官一の命日（3月1日）には、彼を偲ぶ人たちによって「幻花忌」と呼ばれる会が催されています。



カウンターから一言 (第3回)



前は、「忘れ物・落とし物」と「貸出期間の延長」についてでしたが、今回は、「借りた本の返却」と「駐車マナー」についてのお願いです。

借りた本の返却について

借りた本を返却する際には、カウンターへお持ちいただくか、指定のブックポストに投函していただいているところですが、時折、閲覧室内の返本台に置かれていたり、閲覧室内の書架に戻されていることがあります。

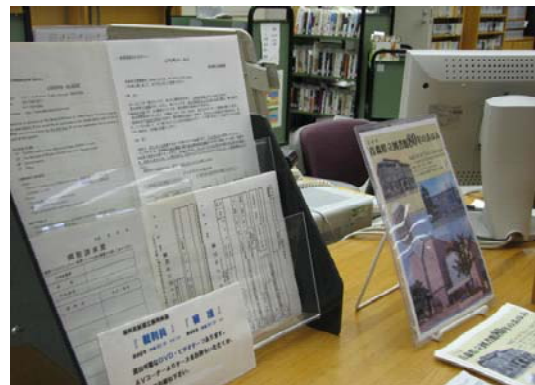
借りたご本人に経緯をお聞きすると、家族や知人に返却を依頼したというケースが多いようです。

返却処理をしていない本が、書架に戻されてしまうと、その本は「貸出中」の状態のままになり、借りたご本人に督促の連絡をさせていただくことになってしまいます。

また、その本を予約している人がいた場合、必要以上にその方にお待ちいただくこととなります。

このようなトラブルを避けるため、利用者カードを作成された際「ご利用のしおり」をお渡しして、返却時等の留意点についてご説明しているところです。

「ご利用のしおり」は、一般閲覧室のカウンターに常時用意しておりますので、ご不明な点がございましたら、再度ご確認くださいようをお願いいたします。



駐車マナーについて

冬になってから、敷地内の路上駐車が目立っています。

積雪時や降雪時には、短時間であっても、他の利用者の通行のご迷惑になりますので、駐車マナーを守ってくださるようお願いいたします。



青森県立図書館自己評価について

青森県立図書館は、県民の多様かつ高度化する生涯学習活動を援助するとともに、地域を支える情報拠点として、地域の課題解決や地域の振興を支援するため、各分野にわたる資料や情報を総合的に収集して、広く利用に供することを、運営方針に掲げております。

また、青森県近代文学館は、明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家の文学資料を幅広く収集し、その保存を図るとともに、広く一般に公開展示し、文学活動の環境づくりを進め、創造豊かな本県文化の継承と発展に寄与することを掲げております。

県立図書館では、この運営方針に沿って評価を行い、運営の改善を図っていくこととしております。

評価に当たって実施しましたアンケート調査に際しましては、多くの方々にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

アンケート実施後、その結果及び実績等を基に現状評価を行うとともに、評価項目ごとに平成23年度までの数値目標と、その達成に向けた改善方策を定めました。

今後、改善方策に沿って運営改善やサービス向上の取組みを進めて参りますので、引き続き、ご意見等をいただきますとともに、ご支援、ご協力をお願いいたします。

アンケートに協力いただいている利用者



編集後記

ホームページを活用しての「県立図書館だより」第3号は、レファレンス事例等の連載のほか、産業支援サービスと現在開催中の企画展「青森県立図書館80年のあゆみ」をご紹介します。

また、昨年の8月から9月にかけてご協力いただきましたアンケート調査等を基に実施する、県立図書館並びに青森県近代文学館の運営状況の自己評価についても掲載させていただきました。

今後とも、図書館サービスの充実に努めて参りますので、より一層ご利用くださいますよう、よろしくお願いいたします。（広報委員会）

青森県立図書館自己評価について

青森県立図書館では、図書館法第7条の3の規定に基づき、当館の運営状況について評価を行い、運営の改善を図っていくこととしています。

【参考 図書館法抜粋】

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

1 評価の概要

(1) 評価指標

評価の実施に当たり、当館運営方針に掲げる事項に沿って、県立図書館については62項目、近代文学館については23項目の評価指標を設定しました。なお、指標は、来館者数や資料貸出冊数などの統計資料のほか、アンケート調査による県民のニーズや満足度に基づいて設定しています。

	県立図書館運営方針の事項	評価項目数
県立図書館	1 資料の収集・保存・提供	20
	2 図書館間の相互協力	16
	3 学習・調査研究の援助	10
	4 地域文化資料の収集・保存・提供	5
	5 地域を支える情報拠点としての機能強化	11
近代文学館	1 資料の収集・保存	3
	2 資料の展示	6
	3 文学活動の環境づくり	14

(2) 数値目標等

平成19年度実績等に基づき、評価項目ごとに、平成23年度までに達成する数値目標と改善方策を定めました。

(3) 評価方法

目標達成の評価は、達成割合を示す「評価基準」を設定し、客観的に行うこととしています。

【評価基準】

達成割合	評 価
100%以上	達 成 (◎)
95%以上 100%未満	ほぼ達成 (○)
95%未満	達成できなかった (△)

※ 達成割合 (平成23年度実績/平成23年度目標値×100)

(4) 評価結果

評価結果は、ホームページ等で公表するとともに、当該評価結果を基に改善すべき事項を検証し、次の数値目標の設定等更なる運営の改善の取組みに活用することとしています。

2 県立図書館評価指標

- (1) 青森県立図書館評価指標一覧
- (2) 青森県近代文学館評価指標一覧
- (3) 青森県立図書館利用者等アンケート (平成20年度実施)
 - ① 利用者アンケート結果
 - ② 非利用者アンケート結果
 - ③ 市町村立図書館等へのアンケート結果

青森県立図書館評価指標一覧

評価項目		実績 (H19)	目標 (H23)	改善方策
1 資料の収集・保存・提供				
(1) 資料の収集・保存に関する指標				
	① 人口千人当たりの所蔵資料数	517冊	613冊	選書方針に基づき、市町村立図書館等で蔵書しにくいレファレンス資料等も含め様々な分野の資料について、寄贈等を合わせ年間26,500冊を目指して収集し、蔵書の充実を図る。
	② 人口千人当たりの受入資料数	19冊	19冊	
(2) 提供（利用者）に関する指標				
	① 人口千人当たりの利用者数	288人	299人	来館者サービスの充実に努めるとともに、オンライン貸出サービスなど、非来館者向けサービスの充実及びサービス内容のPR強化を図る。
	② 人口千人当たりの貸出者数	79人	82人	
	③ 人口千人当たりの貸出資料数	241冊	249冊	
	④ オンライン貸出サービスの周知度	利用者 52%	利用者 57%	広報紙等を活用し、サービス内容のPR強化に努める。 また、利用者の意見・要望を基に、引き続きサービスの充実に努める。
		非利用者 34%	非利用者 37%	
	⑤ オンライン貸出サービス貸出資料数	8,754冊	10,000冊	
	⑥ オンライン貸出サービスについての満足度	92%	92%	広報紙等を活用し、サービス内容のPR強化に努める。
	⑦ アウトリーチサービス貸出件数、資料数（個人）	件数 282件 冊数 1,119冊	件数 300件 冊数 1,170冊	
⑧ アウトリーチサービス貸出件数、資料数（学校）	件数 8件 冊数 394冊	件数 10件 冊数 500冊	県内の特別支援学校に対し、引き続き利用を促す。	
(3) 児童サービスに関する指標				
	① 人口千人当たりの所蔵資料数	36冊	43冊	選書方針に基づき、年間2,000冊を目指して収集し、蔵書の充実を図る。
	② 人口千人当たりの受入資料数	2冊	2冊	
	③ 人口千人当たりの貸出者数	15人	16人	学校等との連携の下、子どもの読書活動の推進のため、利用促進を図る。
	④ 人口千人当たりの貸出資料数	54冊	57冊	
	⑤ おはなし会等のイベントへの参加者数	1,111人	1,166人	企画内容の充実を図るとともに、PR強化に努める。
	⑥ 巡回図書セット貸出の利用館数	20館	24館	県内公共図書館間の協力体制の下、サービス内容の充実とPR強化に努める。
	⑦ 巡回図書セットの貸出資料数	18,420冊	20,000冊	
	⑧ 巡回図書セット貸出についての満足度	89%	90%	
(4) 図書館満足度				
	① 所蔵資料についての満足度	本 76% 雑誌 65%	本 80% 雑誌 70%	利用者の意見・要望を今後の選書の参考とするとともに、県民の多様なニーズに対応する役割を担う県立図書館として、選書方針に基づき幅広い分野の蔵書の充実に努める。
	② 職員の対応についての満足度	83%	90%	接遇に関する研修の機会を増やすなどし、来館者サービスの向上に努める。
2 図書館間の相互協力				
(1) 相互協力・支援に関する指標				
	① 相互貸借の利用館数	38館	40館	会議や研修会等においてのPR強化を図り、利用を促すとともに、引き続きサービス内容の充実に努める。
	② 相互貸借資料数（貸出）	6,492冊	6,572冊	
	③ 相互貸借についての満足度	100%	100%	
	④ 一括貸出の利用館数	20館	24館	会議や研修会等においてのPR強化を図り、利用を促す。 また、利用者の意見・要望を今後の選書の参考とするとともに、蔵書の充実に努める。
	⑤ 一括貸出資料数	35,184冊	40,000冊	
	⑥ 一括貸出についての満足度	88%	90%	
	⑦ Applins（青森県図書館情報ネットワークシステム）へのデータ提供館数	17館	20館	会議や研修会等において、参加館の蔵書検索システムの整備等について働きかけるとともに、Applinsの利用を促す。 また、市町村立図書館等の意見・要望を踏まえ、引き続きシステムの充実に努める。
	⑧ Applins（青森県図書館情報ネットワークシステム）の利用度	88%	100%	
	⑨ Applins（青森県図書館情報ネットワークシステム）についての満足度	97%	97%	
	⑩ 市町村職員研修等の参加者数	176人	200人	学校図書館関係者も受講対象に加えるとともに、研修に関する意見・要望を踏まえ、研修体系・内容の充実に努める。
	⑪ 市町村職員研修等の体系についての満足度	79%	85%	
	⑫ 巡回訪問の利用館数	10館	14館	会議や研修会等においてのPR強化を図り、利用を促すとともに、引き続きサービス内容の充実に努める。
	⑬ 巡回訪問についての満足度	84%	90%	
	⑭ 協力レファレンスの利用度	60%	70%	会議や研修会等においてのPR強化を図り、利用を促す。 また、研修会への派遣等により、引き続き職員のスキルアップを図る。
	⑮ 協力レファレンス件数	78件	100件	
	⑯ 協力レファレンスについての満足度	100%	100%	

青森県立図書館評価指標一覧

評価項目		実績 (H19)	目標 (H23)	改善方策
3 学習・調査研究の援助				
(1) レファレンスに関する指標				
	① レファレンスの周知度	利用者 36%	利用者 70%	レファレンスについてのPR強化に努めるとともに、より利用しやすい環境となるよう、整備を進める。 また、研修会への派遣等により、引き続き職員のスキルアップを図る。
		非利用者 21%	非利用者 30%	
	② レファレンス件数	2,036件	2,200件	
	③ レファレンスについての満足度	86%	90%	
(2) 情報発信に関する指標				
	① ホームページの利用率	利用者 40%	利用者 50%	ホームページを活用した広報紙の内容充実を図るとともに、その時々 の有益な情報や、パスファインダー（特定のテーマに関する文献、情報の探し方・調べ方を案内）を掲載するなどして、役に立つホームページを目指す。
		非利用者 16%	非利用者 20%	
	② ホームページのアクセス件数	149,103件	160,000件	
	③ ホームページについての満足度	58%	70%	
	④ 報道機関への情報提供件数	39件	40件	様々な機会を捉え、情報を積極的に発信し、「身近な図書館」、「役に立つ図書館」をPRする。
	⑤ 新聞、テレビ等の報道件数	16件	20件	
(3) 学習の場の提供に関する指標				
	① インターンシップ等実習の受入件数	6件	8件	学校へのPR強化を図るとともに、受け入れ体制の充実に努める。
	② 社会見学等の受入件数	17件	20件	
4 地域文化資料の収集・保存・提供				
(1) 郷土資料の収集・保存に関する指標				
	① 人口千人当たりの所蔵資料数	81冊	105冊	郷土資料、県内行政資料や県内出版物について、寄贈等を積極的に働きかけ、年間7,000冊を目指して収集し、蔵書の充実を図る。
	② 人口千人当たりの受入資料数	4冊	5冊	
(2) 郷土資料の提供に関する指標				
	① 人口千人当たりの貸出者数	5人	5人	郷土資料に対する興味・関心を引き出す取組みを行うとともに、より利用しやすい環境となるよう、整備を進める。
	② 人口千人当たりの貸出資料数	10冊	11冊	
(3) 郷土資料に係るレファレンスに関する指標				
	① レファレンス件数	559件	600件	レファレンスについてのPR強化に努めるとともに、より利用しやすい環境となるよう整備を進める。 また、研修会への派遣等により、引き続き職員のスキルアップを図る。
5 地域を支える情報拠点としての機能強化				
(1) 産業支援サービスに関する指標				
	① 産業支援サービスの周知度	利用者 27%	利用者 50%	継続的にPRを行うとともに、関連資料の整備に努める。 また、研修会への派遣等により、職員のスキルアップを図る。
		非利用者 9%	非利用者 20%	
	② 産業支援レファレンス利用件数	63件	100件	
	③ 産業支援コーナー利用件数	3,617件	4,000件	
	④ 産業支援サービスについての満足度	65%	75%	
	⑤ オーダーメイドリスト提供部数	835部	1,000部	
(2) 行政支援サービスに関する指標				
	① 行政支援レファレンス利用件数	171件	200件	継続的にPRを行うとともに、県が主催するセミナー等でのオーダーメイドリストの提供、図書の展示・貸出を積極的に展開する。 また、研修会への派遣等により、職員のスキルアップを図る。
	② 貸出資料数	312冊	800冊	
	③ オーダーメイドリスト提供部数	1,070部	2,000部	
	④ 集会室等の利用件数	2件	24件	
(3) 大学との連携に関する指標				
	① 横断検索システム参加学校数	0校	8校	県内の大学等との連携を強化し、大学も含めた横断検索システムの整備を進める。
	② 図書館での公開講座の開催件数	0件	7件	県内の大学等との連携を強化し、県立図書館を会場とした公開講座の開催を進める。

(注) 実績欄の満足度・周知度・利用率については、平成20年度に実施した利用者等アンケート調査に基づいた数値である。

青森県近代文学館評価指標一覧

評価項目		実績 (H19)	目標 (H23)	改善方策
1 資料の収集・保存				
(1) 本県出身及びゆかりの作家の資料収集・保存				
	① 所蔵資料数	121,265点	136,065点	寄贈資料に係る情報収集等に努め、年間3,700点を目指して収集し、所蔵資料の充実を図る。
(2) 本県出身及びゆかりの作家の情報収集、調査研究				
	① 検索装置調査データ数	340件	400件	調査員による調査・データ蓄積を着実に進める。
	② 調査研究成果発表件数（館報、ホームページ、新聞雑誌等）	26件	34件	郷土にゆかりのある作家や資料について、継続的に調査研究を進めるとともに、様々な機会を捉えて情報発信する。
2 資料の展示				
(1) 常設展示の充実				
	① 常設展来観者数	15,735人	16,000人	継続的にPR強化に努めるとともに、特別コーナーの設置、企画展との連動など、本県の近代文学に対する興味・関心を引き出す取組みを進める。
	② 来観者を対象としたアンケート調査（満足度）	66%	75%	
(2) 特別展・企画展の開催				
	① 来観者数	※ 10,491人	11,000人	展示内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい展示に努める。 また、県立図書館での会議出席者等を対象とした解説を実施するとともに、様々な機会を捉えて積極的にPRする。
	② 来観者を対象としたアンケート調査（満足度）	69%	75%	
(3) パネル展の開催				
	① パネル展実施回数、参観者数	実施17回 参観者12,953人	実施25回 参観者15,133人	高校等に加え、県内の文学館・公民館等での開催を進める。
	② 参観者を対象としたアンケート調査（満足度）	—	75%	
3 文学活動の環境づくり				
(1) 特別展・企画展関連イベントの開催				
	① イベント参加人数	※ 363人	400人	より多くの人に特別展の内容を深く理解してもらえるよう、企画内容に工夫を凝らすとともに、様々な機会を捉えて積極的にPRする。
	② 参加者を対象としたアンケート調査（満足度）	68%	75%	
(2) 文学講座、日曜講座、ギャラリートークの開催				
	① 各講座実施回数	22回	22回	より多くの人に企画展の内容を深く理解してもらえるよう、講師や内容の充実を図るとともに、様々な機会を捉えて積極的にPRする。
	② 各講座参加人数	372人	400人	
	③ 参加者を対象としたアンケート調査（満足度）	65%	75%	
(3) 学校との連携				
	① パネル展実施回数	17回	20回	県内全域の学校で実施できるよう、PR強化に努めるとともに、展示内容の充実を図る。
	② パネル展参観者数	12,953人	14,453人	
	③ 参観者を対象としたアンケート調査（満足度）	—	75%	
(4) 広報・宣伝活動の強化				
	① ホームページアクセス件数	23,266件	25,000件	ホームページの掲載内容を毎週更新し、常に新しい情報の提供に努めるとともに、企画展等のポスター、館報、メルマガ等により、ホームページの周知を図る。
	② メールマガジン登録者数	68人	150人	アンケートやホームページ等を活用し、引き続き登録の働きかけを行う。
	③ 報道機関への情報提供件数	57件	60件	様々な機会を捉え、情報を積極的に発信する。
	④ 新聞、テレビ等の報道件数	52件	60件	
	⑤ 周知度調査	利用者72% 非利用者29%	利用者80% 非利用者50%	館内の掲示を工夫するとともに、パネル展や館外での活動など、様々な機会を捉え、積極的にPRする。
(5) 利用者・他館・施設への資料協力・情報提供				
	① レファレンス件数	21件	60件	ホームページ等を活用し、レファレンスについてのPR強化に努める。

(注) 1 実績欄の周知度については、平成20年度に実施した利用者等アンケート調査に基づいた数値である。

(注) 2 ※を付した実績値については、取り上げる作家等により数値が大きく変動することから、3か年(平成17～平成19年度)の平均値とした。

平成20年度 青森県立図書館利用者等アンケートの実施について

青 森 県 立 図 書 館

1 調査の目的

県立図書館が行うサービスに対する県民のニーズ・意識を把握し、運営の改善やサービス向上のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の概要

調査は、次の3つを対象としたアンケートとし、平成20年8月中旬から9月上旬に実施した。

(1) 利用者を対象としたアンケート

県立図書館利用者が、現在のサービスにどの程度満足しているかを調べるアンケート。

(2) 非利用者を対象としたアンケート

県民が、県立図書館のサービスをどの程度承知しているかを調べるアンケート。

(3) 市町村立図書館等を対象としたアンケート

市町村立図書館・公民館等図書室が、県立図書館の協力・支援事業にどの程度満足しているかを調べるアンケート。

3 調査実施方法

(1) 来館者への調査

- ① 調査日は、8月30日（土）、31日（日）、9月3日（水）、4日（木）の4日間
- ② 職員が、エントランスで調査票の配布を行う。
- ③ 回収箱は、エントランス、一般室、児童室に設置する。

(2) オンライン貸出サービス・アウトリーチサービス利用者への調査

オンライン貸出サービス等の利用者については、調査期間内に図書を送付する際、協力依頼文書・調査用紙を同封して行う。

(3) 近隣の企業・団体、学校等への調査

① 企業・団体への調査

イトーヨーカ堂、青森刑務所に対して、職員への調査票の配布及び回収を依頼して行う。

② 学校への調査

次の学校に対して、対象学年につき1クラス分の調査を依頼して行う。なお、小学校については、保護者のみを、中学校・高等学校については、保護者と生徒を対象として行う。

学 校 名	大野小	荒川小	南中	荒川中	青森南高	青森中央高
対 象	1年	3・5年	2年	3年	2年	3年

(4) 青森市以外の住民への調査

市町村立図書館等に対して協力依頼文書・調査用紙を送付し、図書館等の利用者に対する調査を行う。

(5) その他（ホームページ等を活用した調査）

県立図書館HPに調査用紙等を掲載し、メールでの回答を受け付ける。

(6) 市町村立図書館等を対象とするアンケート

市町村立図書館等に対して、協力依頼文書・調査用紙を送付して行う。

4 調査票の回収

	調査方法	利用者	非利用者	市町村立図書館等
(1)	来館者への調査	8 6 6 人	—	—
(2)	オンライン貸出サービス・アウトリーチサービス利用者への調査	7 6 人	—	—
(3)	近隣の企業・団体、学校等への調査	2 6 2 人	1 5 7 人	—
(4)	青森市以外の住民への調査	1 3 9 人	2 0 6 人	—
(5)	その他（ホームページ等を活用した調査）	1 1 0 人	4 5 人	—
(6)	市町村立図書館等へのアンケート	—	—	4 2 館
	計	1, 4 5 3 人	4 0 8 人	4 2 館

5 調査結果

別紙のとおり

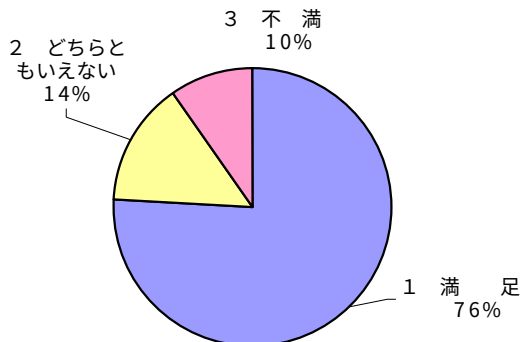
青森県立図書館 利用者へのアンケート結果

平成20年8～9月実施

問1 あなたは、県立図書館の所蔵資料についてどの程度満足していますか。

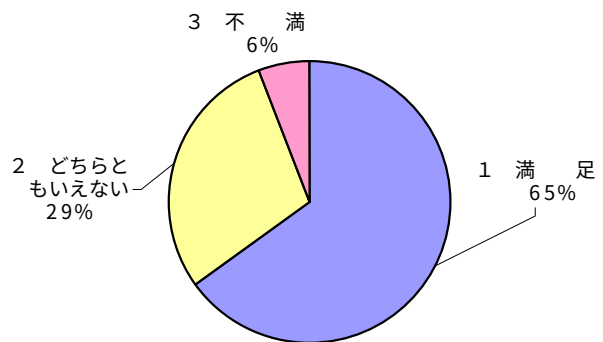
(1) 本について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
1,084	206	137	1,427
76%	14%	10%	100%



(2) 雑誌・新聞について

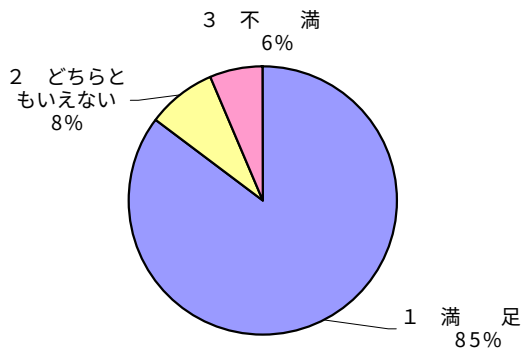
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
875	392	79	1,346
65%	29%	6%	100%



問2 県立図書館では、本の貸出サービスについて、本を一度に借りられる冊数を5冊以内、借りられる期間を2週間（予約が入っていないければ1週間単位で2回まで期間延長可能）としています。あなたは、本の貸出サービスについてどの程度満足していますか。

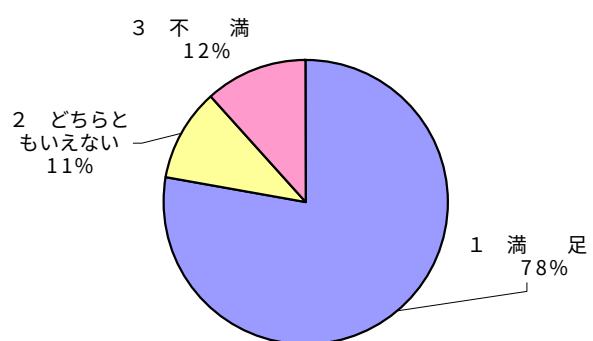
(1) 本を一度に借りられる冊数について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
1,208	118	92	1,418
85%	8%	6%	100%



(2) 本を借りられる期間について

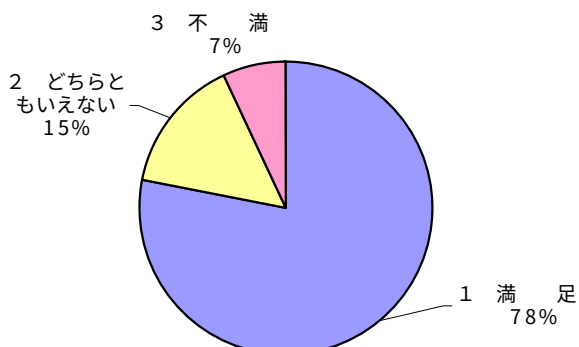
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
1,088	151	162	1,401
78%	11%	12%	100%



問3 あなたは、県立図書館の施設・設備や本の配列について、どの程度満足していますか。

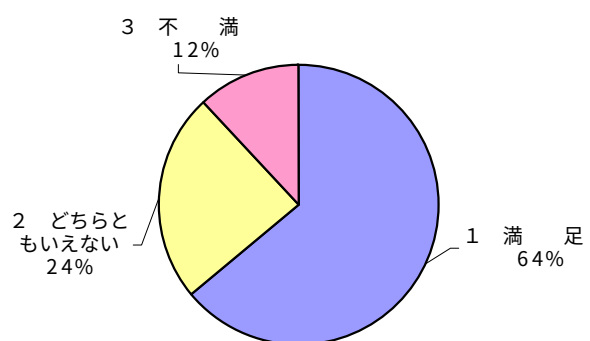
(1) 施設・設備について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
1,092	210	96	1,398
78%	15%	7%	100%



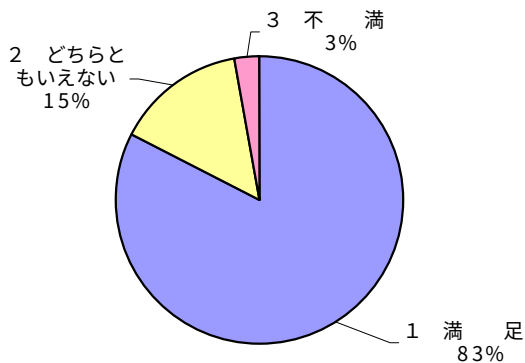
(2) 求める本が探しやすいかどうかについて

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
882	335	163	1,380
64%	24%	12%	100%



問4 あなたは、県立図書館の職員の対応について、どの程度満足しているかお答えください。

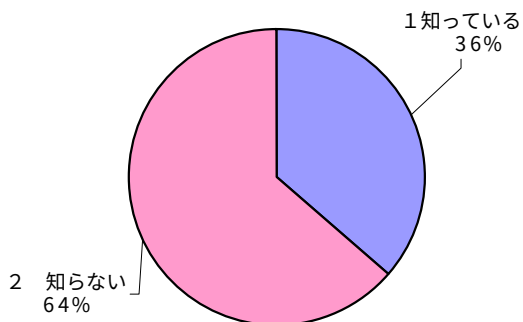
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
1,147	204	39	1,390
83%	15%	3%	100%



問5 県立図書館には、職員が調べもののお手伝いをするレファレンスコーナーがありますが、あなたは、レファレンスコーナーを知っていますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

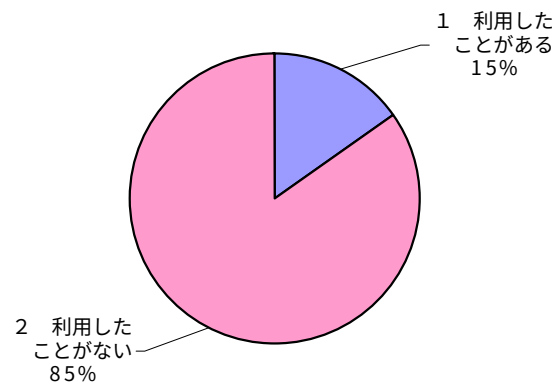
(1) レファレンスコーナーを知っているかどうか

1 知っている	2 知らない	計
504	882	1,386
36%	64%	100%



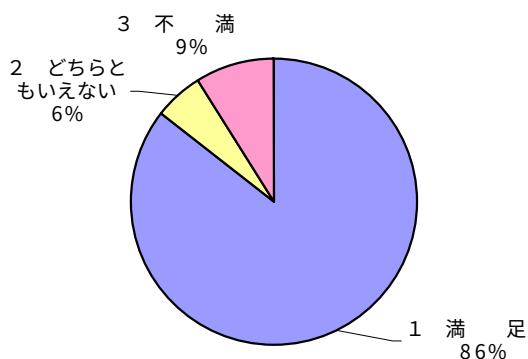
(2) レファレンスコーナーを利用したことがあるかどうか

1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
205	1,126	1,331
15%	85%	100%



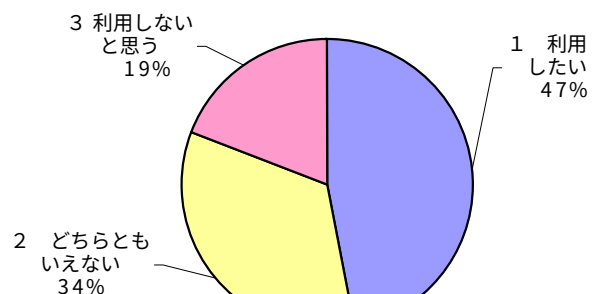
(3) 【(2)で「利用したことがある」と回答した方】
レファレンスサービスの対応について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
171	11	18	200
86%	6%	9%	100%



(3) 【(2)で「利用したことがない」と回答した方】
レファレンスサービスを利用してみたいかどうか

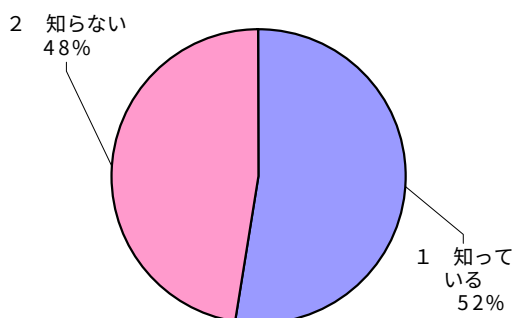
1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
453	328	186	967
47%	34%	19%	100%



問6 県立図書館では、ホームページ上で本を予約して、県立図書館や地元の公共図書館等で借りることができるオンライン貸出サービスを行っています。あなたは、オンライン貸出サービスを知っていますか。また、利用してみてもどの程度満足していますか。

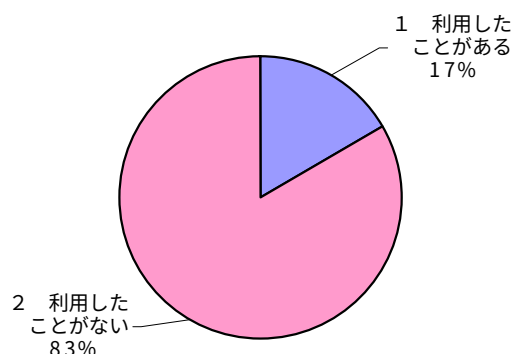
(1) オンライン貸出サービスを知っているか

1 知っている	2 知らない	計
729	660	1,389
52%	48%	100%



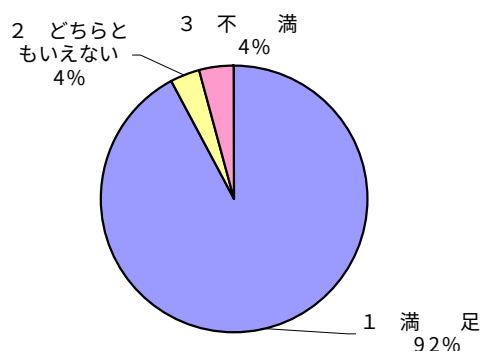
(2) オンライン貸出サービスを利用したことがあるか

1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
221	1,115	1,336
17%	83%	100%



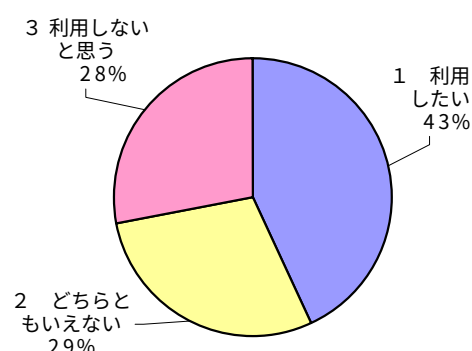
(3) 【(2)で「利用したことがある」と回答した方】
オンライン貸出サービスの内容について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
199	8	9	216
92%	4%	4%	100%



(3) 【(2)で「利用したことがない」と回答した方】
オンライン貸出サービスを利用してみたいか

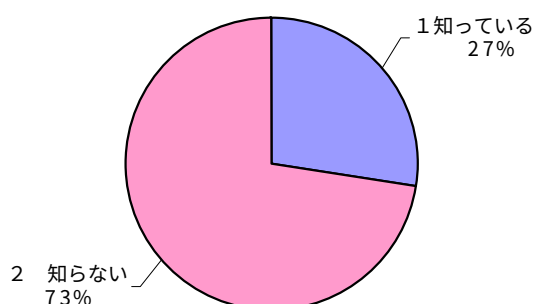
1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
417	279	272	968
43%	29%	28%	100%



問7 県立図書館では、起業や創業、就職などについて支援するため、産業支援コーナーを設け、各種データベース検索用パソコンの設置、産業関連の本・雑誌・パンフレット等の展示、産業支援優先席の設置、産業支援レファレンスなどの産業支援サービスを行っています。あなたは、産業支援サービスを知っていますか。また、利用してみてもどの程度満足していますか。

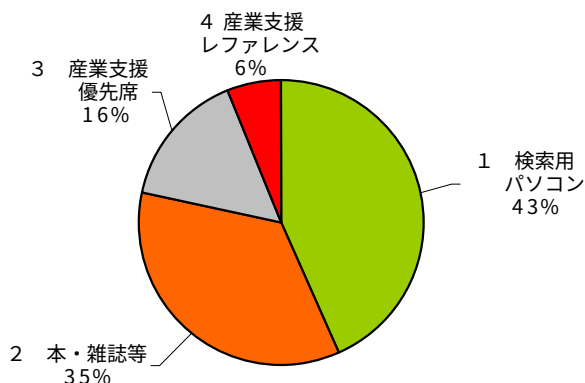
(1) 産業支援サービスを知っているか

1 知っている	2 知らない	計
378	997	1,375
27%	73%	100%



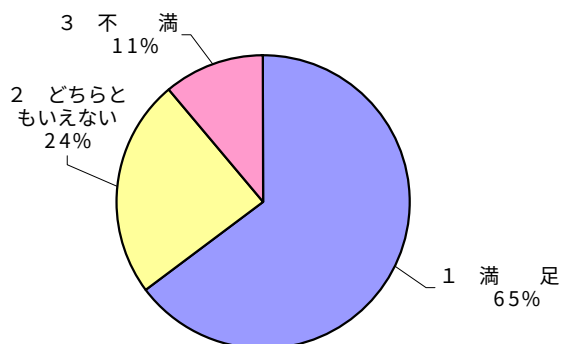
(2) 産業支援サービスを利用したことがあるか

1 検索用パソコン	2 本・雑誌等	3 産業支援優先席	4 産業支援レファレンス	計
64	52	23	9	148
43%	35%	16%	6%	100%



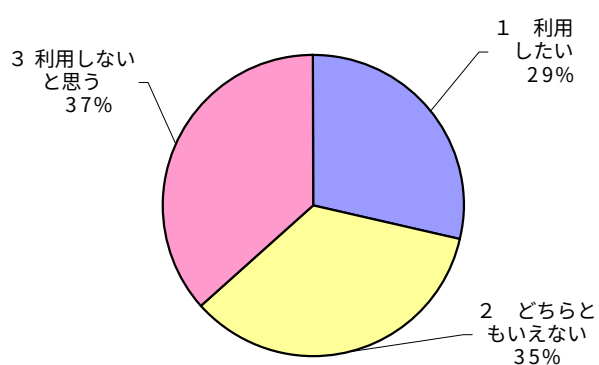
(3) 【(2) でいずれかを利用したことがあると回答した方】
産業支援サービスの内容について

1 満 足	2 どちらともいえない	3 不 満	計
75	28	13	116
65%	24%	11%	100%



(3) 【(2) のいずれも利用したことがない方】
産業支援サービスを利用してみたいか

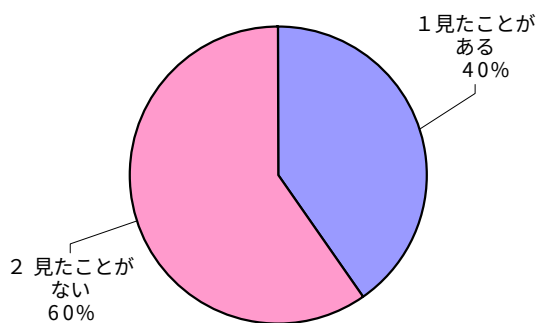
1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
270	328	346	944
29%	35%	37%	100%



問8 あなたは、県立図書館のホームページを見たことがありますか。また、どの程度満足していますか。

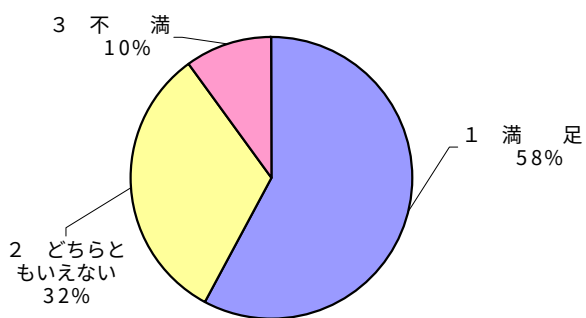
(1) 県立図書館のホームページを見たことがあるか

1 見たことがある	2 見たことがない	計
552	817	1,369
40%	60%	100%



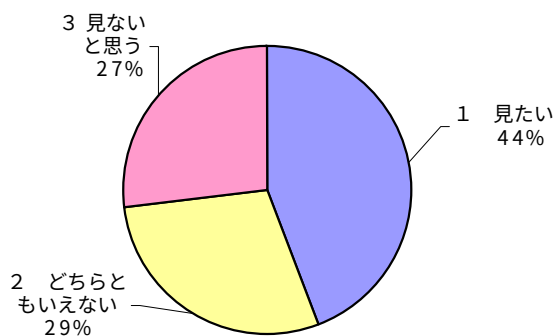
(2) 【(1) で「見たことがある」と回答した方】
県立図書館のホームページの内容について

1 満 足	2 どちらともいえない	3 不 満	計
314	176	54	544
58%	32%	10%	100%



(2) 【(1) で「見たことがない」と回答した方】
県立図書館のホームページを見てみたいか

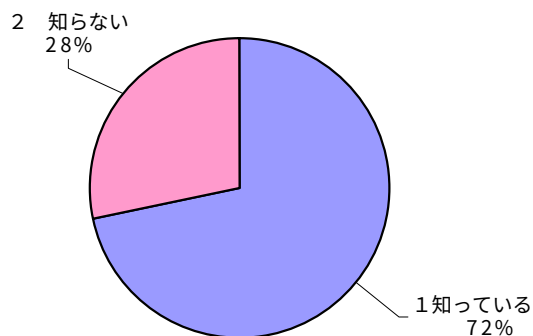
1 見たい	2 どちらともいえない	3 見ないと思う	計
305	200	185	690
44%	29%	27%	100%



問9 県立図書館の2階には、青森県にゆかりのある作家の文学資料を展示する「青森県近代文学館」がありますが、あなたは、近代文学館を知っていますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

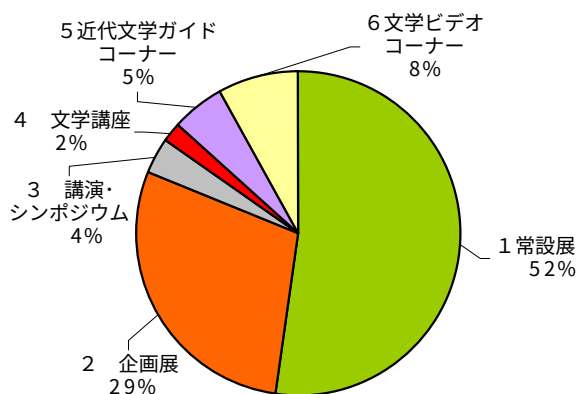
(1) 近代文学館を知っているか

1 知っている	2 知らない	計
985	387	1,372
72%	28%	100%



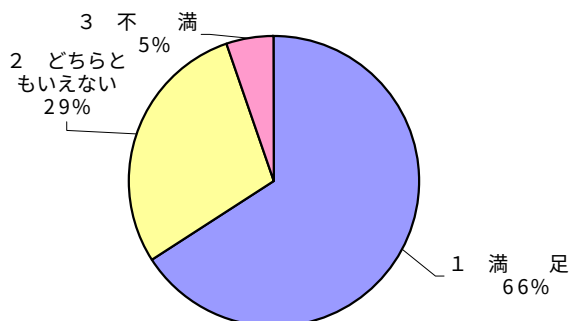
(2) 近代文学館を利用したことがあるか

1 常設展	2 企画展	3 講演・シンポジウム	4 文学講座	5 近代文学ガイドコーナー	6 文学ビデオコーナー	計
536	297	37	18	56	82	1,026
52%	29%	4%	2%	5%	8%	100%



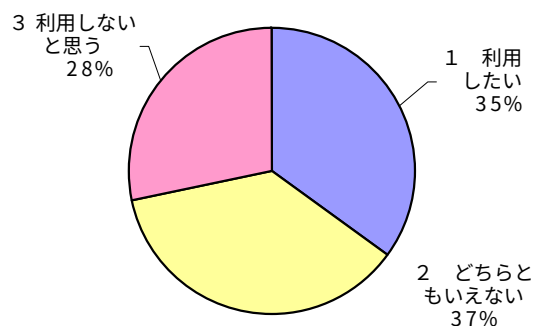
(3) 【(2) でいずれかを利用したことがあると回答した方】
近代文学館のサービスの内容について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
385	170	31	586
66%	29%	5%	100%



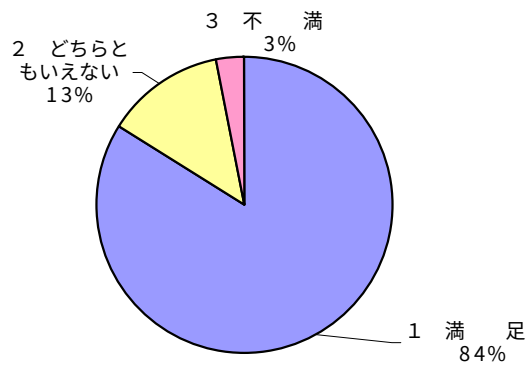
(3) 【(2) のいずれも利用したことがない方】
近代文学館を利用してみたいか

1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
227	238	183	648
35%	37%	28%	100%



問10 最後に、県立図書館のサービス全般についてどの程度満足しているかお答えください。

1 満 足	2 どちらとも いえない	3 不 満	計
1,120	175	41	1,336
84%	13%	3%	100%

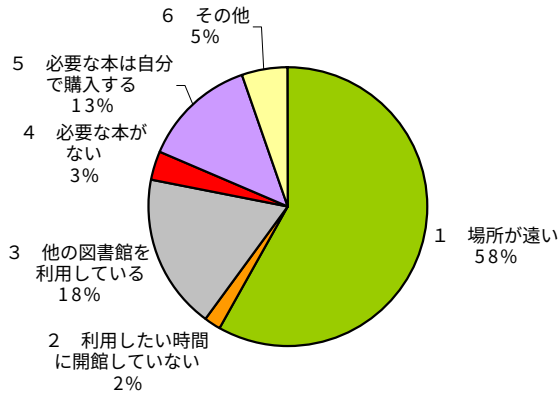


青森県立図書館 非利用者へのアンケート結果

平成20年8～9月実施

問1 あなたが、県立図書館を利用しない理由についてお答えください。

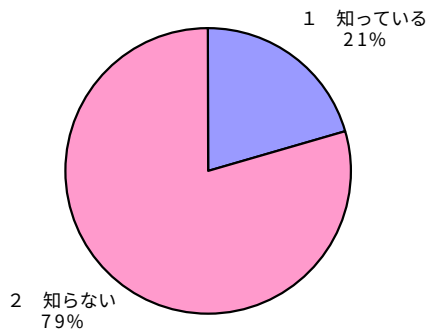
1 場所が遠い	2 利用したい時間に開館していない	3 他の図書館を利用している	4 必要な本がない	5 必要な本は自分で購入する	6 その他	計
273	10	84	16	63	25	471
58%	2%	18%	3%	13%	5%	100%



問2 県立図書館では、職員が調べもののお手伝いをするレファレンスサービスを行っていますが、あなたは、レファレンスサービスを知っていますか。

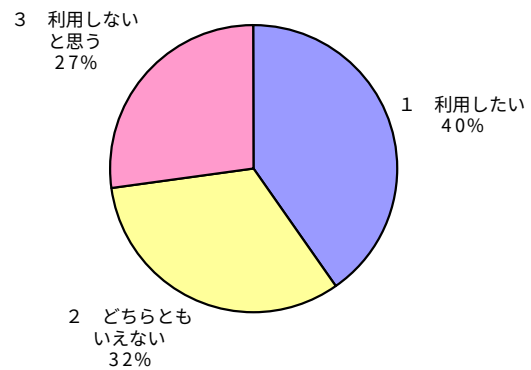
(1) レファレンスコーナーを知っているか

1 知っている	2 知らない	計
84	322	406
21%	79%	100%



(2) レファレンスサービスを利用してみたいか

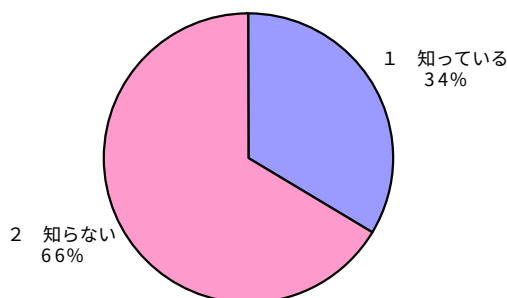
1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
150	121	102	373
40%	32%	27%	100%



問3 県立図書館では、ホームページ上で本を予約して、県立図書館や地元の公共図書館等で借りることができるオンライン貸出サービスを行っていますが、あなたは、オンライン貸出サービスを知っていますか。

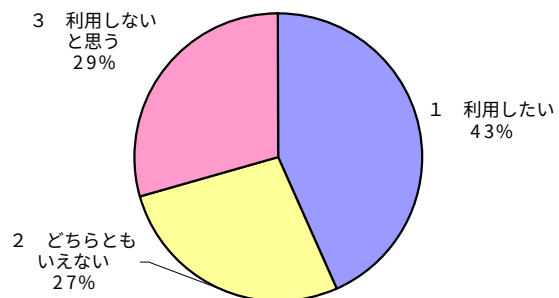
(1) オンライン貸出サービスを知っているか

1 知っている	2 知らない	計
136	268	404
34%	66%	100%



(2) オンライン貸出サービスを利用してみたいか

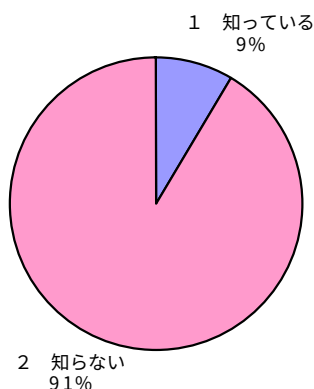
1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
168	106	114	388
43%	27%	29%	100%



問4 県立図書館では、起業や創業、就職などについて支援するため、産業支援コーナーを設け、各種データベース検索用パソコンの設置、産業関連の本・雑誌・パンフレット等の展示、産業支援優先席の設置、産業支援レファレンスなどの産業支援サービスを行っていますが、あなたは、産業支援サービスを知っていますか。

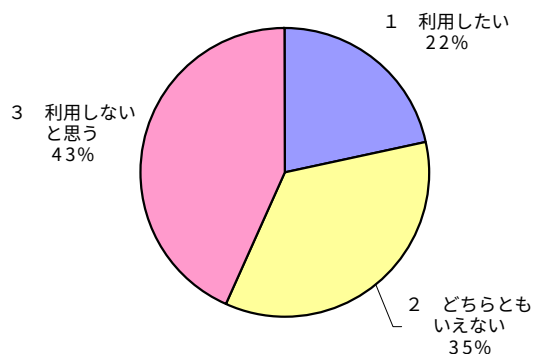
(1) 産業支援サービスを知っているか

1 知っている	2 知らない	計
35	370	405
9%	91%	100%



(2) 産業支援サービスを利用してみたいか

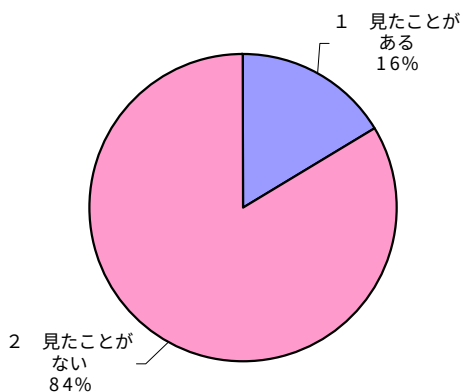
1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
84	135	167	386
22%	35%	43%	100%



問5 あなたは、県立図書館のホームページを見たことがありますか。また、どの程度満足していますか。

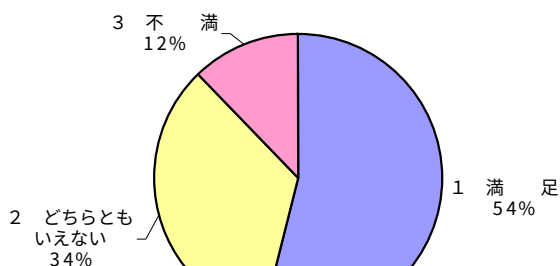
(1) 県立図書館のホームページを見たことがあるか

1 見たことがある	2 見たことがない	計
66	340	406
16%	84%	100%



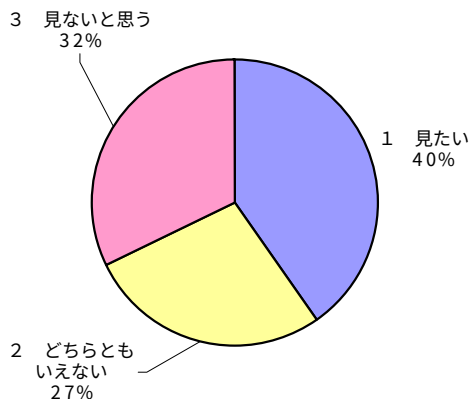
(2) 【(1)で「見たことがある」と回答した方】
県立図書館のホームページの内容について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
35	22	8	65
54%	34%	12%	100%



(3) 【(1)で「見たことがない」と回答した方】
県立図書館のホームページを見てみたいか

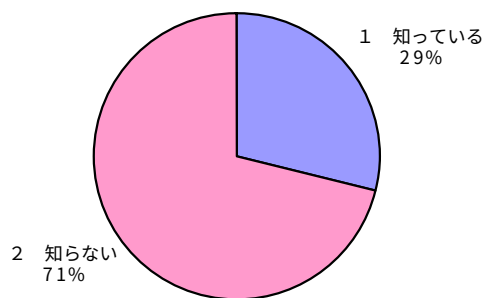
1 見たい	2 どちらともいえない	3 見ないと思う	計
130	88	104	322
40%	27%	32%	100%



問6 県立図書館の2階には、青森県にゆかりのある作家の文学資料を展示する「青森県近代文学館」がありますが、あなたは、近代文学館を知っていますか。

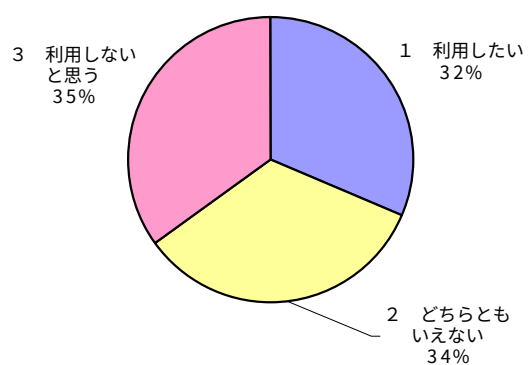
(1) 近代文学館を知っているか

1 知っている	2 知らない	計
115	284	399
29%	71%	100%



(2) 近代文学館を利用してみたいか

1 利用したい	2 どちらともいえない	3 利用しないと思う	計
122	130	135	387
32%	34%	35%	100%



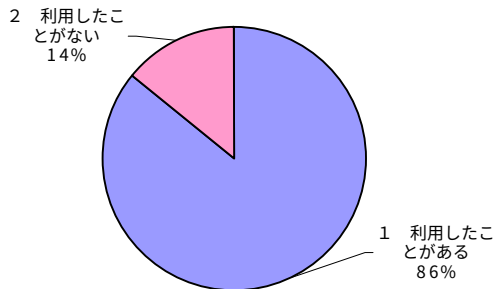
青森県立図書館 市町村立図書館等へのアンケート結果

平成20年8～9月実施

問1 貴館は、平成18年度以降、県立図書館との間で相互貸借を利用したことがありますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

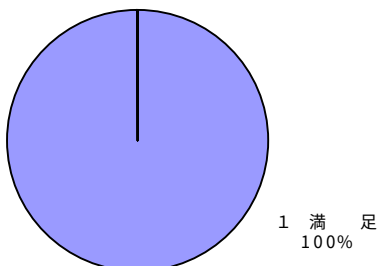
(1) 県立図書館との相互貸借を利用したことがあるか

1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
36	6	42
86%	14%	100%



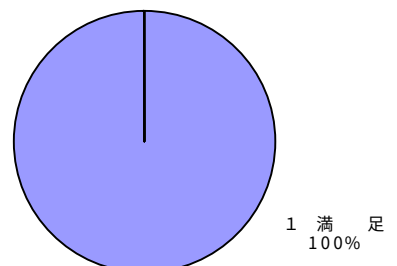
(2) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
職員の対応について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
36	0	0	36
100%	0%	0%	100%



(3) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
搬送方法等について

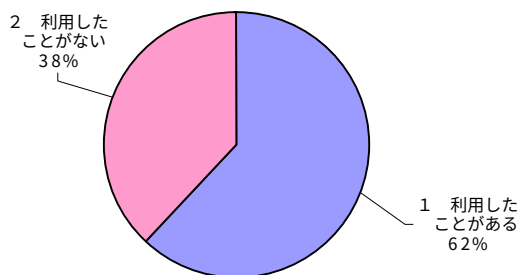
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
36	0	0	36
100%	0%	0%	100%



問2 貴館は、平成18年度以降、県立図書館の協力用図書一括貸出を利用したことがありますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

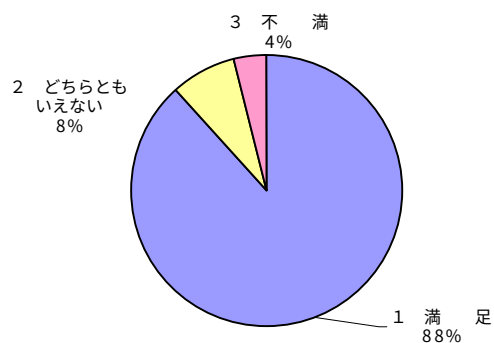
(1) 協力用図書一括貸出を利用したことがあるか

1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
26	16	42
62%	38%	100%



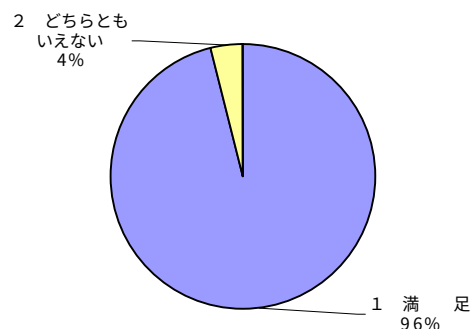
(2) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
協力用図書について

1 満 足	2 どちらとも いえない	3 不 満	計
23	2	1	26
88%	8%	4%	100%



(3) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
貸出期間について

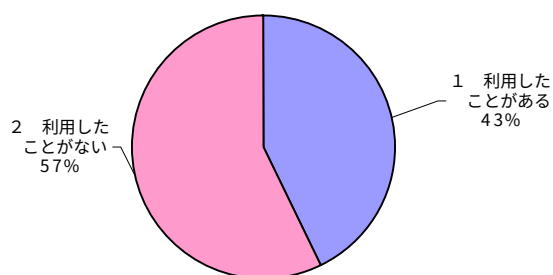
1 満 足	2 どちらとも いえない	3 不 満	計
25	1	0	26
96%	4%	0%	100%



問3 貴館は、平成18年度以降、県立図書館の巡回図書セット貸出を利用したことがありますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

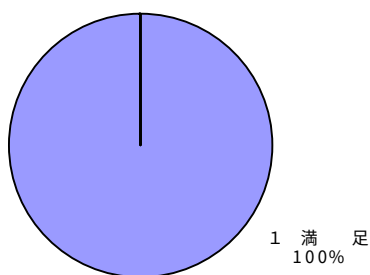
(1) 巡回図書セット貸出を利用したことがあるか

1 利用したこ とがある	2 利用したこ とがない	計
18	24	42
43%	57%	100%



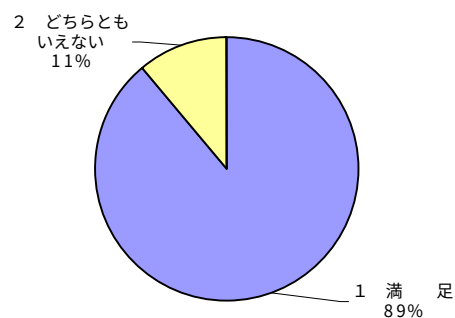
(2) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
図書セットの内容について

1 満 足	2 どちらとも いえない	3 不 満	計
18	0	0	18
100%	0%	0%	100%



(3) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
貸出期間について

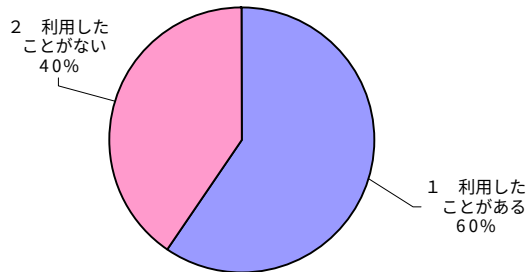
1 満 足	2 どちらとも いえない	3 不 満	計
16	2	0	18
89%	11%	0%	100%



問4 貴館は、平成18年度以降、県立図書館の協力レファレンスを利用したことがありますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

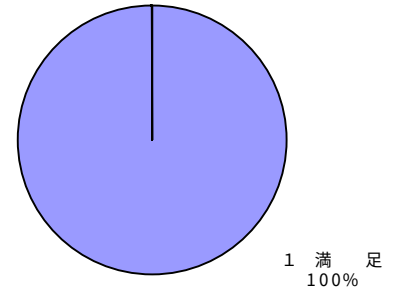
(1) 協力レファレンスを利用したことがあるか

1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
25	17	42
60%	40%	100%



(2) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
協力レファレンスの内容について

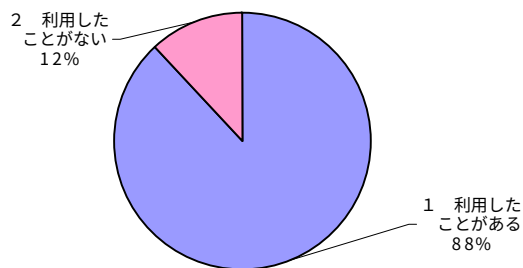
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
25	0	0	25
100%	0%	0%	100%



問5 貴館は、平成18年度以降、県立図書館が運営する青森県図書館情報ネットワークシステム（アブリンズ）を利用したことがありますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

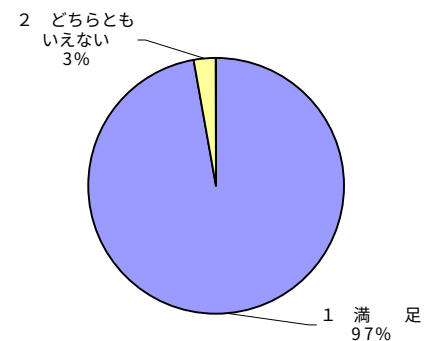
(1) アブリンズを利用したことがあるか

1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
37	5	42
88%	12%	100%



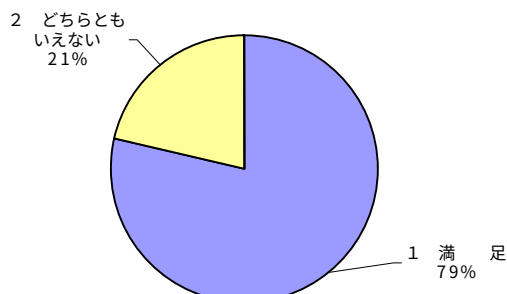
(2) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】
アブリンズの機能や掲載内容について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
36	1	0	37
97%	3%	0%	100%



問6 県立図書館では、館長会議や、図書館事務担当者会議、職員研修（初任者研修、実務研修）を行っています。職員研修等の体系についてどの程度満足しているかお答えください。

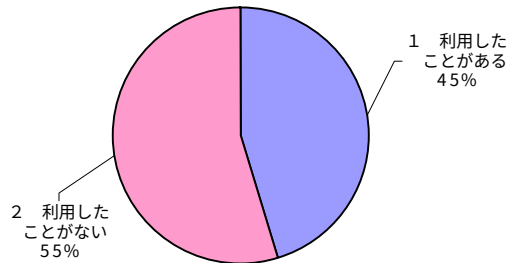
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
33	9	0	42
79%	21%	0%	100%



問7 貴館は、平成18年度以降、県立図書館の巡回訪問を利用したことがありますか。また、利用してみてどの程度満足していますか。

(1) 巡回訪問を利用したことがあるか

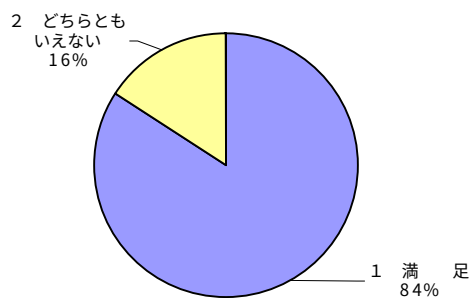
1 利用したことがある	2 利用したことがない	計
19	23	42
45%	55%	100%



(2) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】

巡回訪問の内容について

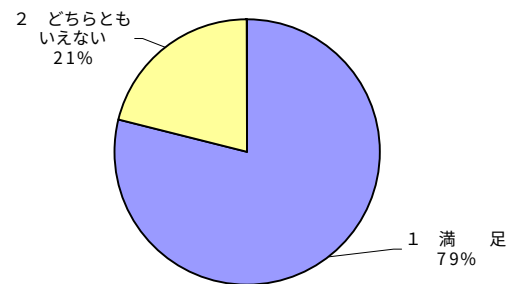
1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
16	3	0	19
84%	16%	0%	100%



(3) 【(1)で「利用したことがある」と回答した館】

巡回訪問の日程について

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
15	4	0	19
79%	21%	0%	100%



問8 最後に、県立図書館の協力・支援事業全般についてどの程度満足しているかお答えください。

1 満足	2 どちらともいえない	3 不満	計
40	2	0	42
95%	5%	0%	100%

